

令和6年度 障がい福祉関係研修(専門研修)

どもった話し方(吃音)のこどもたちへの正しい理解と啓発



吃音(きつおん)のあるこどもの保護者や学級担任、専門機関の相談員等が、吃音のあるこどもの様子から「今は気にしていないようだ」「特に問題がなさそうだ」と判断してしまいがちです。何もせずにただ様子を見守る対応は、吃音が重くなっていくことを傍観することになります。吃音を重くさせない早期からの対応が最も効果的です。吃音のあるこどもや周りにいる人たちへ、吃音の何を理解してもらうのか、啓発の意義について考えていきます。

【日時】 令和6年8月2日(金)

午後1時30分～4時30分

【講師】 関西外国語大学短期大学部

言語聴覚士・教育学博士

准教授 堅田 利明

【昨年度の受講者の声】

- ・誤った知識だったことに気付かされました。
- ・演習により、説明する際のイメージができました。
- ・新しい知識、出逢いに感謝です。
- ・啓発の大切さを知りました。
- ・何度も振り返りながらしっかりと修得していきたいと思えます。

- ◆会場 大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室
- ◆対象者 大阪市内の保育・児童等の福祉関係施設・事業所に従事する方
- ◆定員 36人(申込多数の場合は抽選) ◆受講料 1,500円
- ◆申込方法 FAXまたはホームページからお申込みください
- ◆申込締切 令和6年7月12日(金) 午後5時まで(必着)
- ◆受講決定 7月中旬に事業所あて発送します。7月22日までに通知が届かない場合はお問い合わせください。
- ◆主催・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 TEL (06) 4392-8201 FAX (06) 4392-8272

FAX 06-4392-8272 <「どもった話し方(吃音)のこどもたちへの正しい理解と啓発」研修申込書>

事業所名					
種別	右の番号	①高齢者福祉関係	②障がい児・者福祉関係	③保育・児童福祉関係	
		④生活保護施設	⑤その他()		
事業所連絡先	〒	住所			
	電話	FAX			
受講希望者 (ふりがなも必ずご記入ください)	福祉業務 経験年数	年齢	職種番号		
ふりがな	R6.8.1 現在 年	歳	右の番号	①相談職・支援職 ②介護支援専門員 ③介護職 ④保育士 ⑤保健師・看護師 ⑥事務職・管理職 ⑦その他()	
備考欄	車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料が必要な方は、その旨をご記入ください。				

◆提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供することはありません。

◆今後、FAXによる情報提供を希望されない場合は、お手数ですが、当センターまでご連絡ください。